

思考レベルを落とさない学習を！

茗溪塾塾長 長谷誠基

12月に入り、中学入試では千葉県の第1志望入試が行われました。また、帰国生入試や大学入試の総合型選抜などで合格の報告が届き始めています。いよいよ入試本番という時期になってきました。

塾では今後、茗溪模試・冬期講習・正月特訓と学習イベントが続いていきます。最後まで気を抜かずに入試を迎えるために、今年の内容を検討しているところです。

さて、この時期になってくると受験生本人も保護者の方も「このままで大丈夫だろうか？」という不安に駆られてきます。ずっと勉強しているけれど成績がなかなか上がらない、模擬試験でなかなか良い結果が出ない、過去問で合格点が取れないなど抱えている不安はさまざまです。この時期は受験生がみんな頑張ってきていますので、少しの努力ではなかなか成績が上がらないものですから、非常につらい時期を過ごすことになります。ここで気をつけなければならないのは、教材をがらりと変えてしまうことです。入試前のこの時期は教材もかなり実戦に即したものになっていますので、1つ1つが簡単には終わらなかつたり、考えてもなかなか解けなかつたりします。しかしこの「考える学習」をやめてしまうと、せっかく培ってきた思考力がすぐに弱くなってしまいます。書店やネットを見ると、「〇〇日完成」などのタイトルやさまざまな学習法が出てきます。一見良さそうですが、そう簡単に完成できる学習ではないから苦労しているのですし、自分に本当にあった学習法が簡単に見つかるとも限りません。ですから、入試前の今は、過去問をやって間違えたところの解き直しと間違えた単元のフォローを今まで使った教材でやる。または模擬試験で間違えた問題の解き直し。「今までできなかった問題ができるようになる」、これが一番必要なことです。あくまでも、自分の今持っている教材を繰り返し学習しましょう。

また、ここまで来たら自分の弱点に集中して勉強すればいいのではないかと考える場合もあります。確かに弱点の補強は大切なことですが、そればかりに集中してしまうと、それまで得意だった教科の学習量が減り、思考力を落としてしまうことにもつながります。得意教科・分野の学習も続けながら苦手な学習を入れるようにしましょう。冬期講習が終わって入試の本当の直前、場合によれば得意な学習を逆に増やして、得点力を伸ばすことも一つの作戦です。苦手単元で5点取るよりも得意単元で10点取る方が早道かもしれません。大変な時期ですが、レベルを落とさない学習を心がけて下さい。